

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和06年08月30日

計画の名称	太子町における快適な暮らしを実現する下水道整備の推進（防災・安全）														
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	太子町														
計画の目標	雨水貯留施設を設置することにより、水循環の改善及び雨水流出抑制の向上を図る。 また、下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。														
全体事業費（百万円）		合計（A + B + C + D）		276	A	276	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（R1当初）	（R3末）	（R5末）
1	R5末までに、雨水貯留槽を35基設置する。 雨水貯留槽の設置基数（35基）	22基	42基	57基
2	R5末までに、老朽化したマンホールポンプ14基の更新を行う。 計画期間内に予定するマンホールポンプの更新基数（14基）	0基	8基	14基
3	R5末までに、老朽化したマンホール蓋40箇所の更新を行う。 計画期間内に予定するマンホール蓋の更新箇所数（40箇所）	0箇所	20箇所	40箇所
4	R5末までに、老朽化した管渠130mの更新を行う。 老朽管渠の更新実施率（130m） 更新実施延長 / 対象延長	0%	0%	100%
5	R5末までに、太子前処理場の耐水化計画を策定する。 太子前処理場の耐水化計画策定（1処理場）	0処理場	0処理場	1処理場
6	R5末までに、太子前処理場の改築費用を20%削減する。 対象となる施設に対する改築費用の削減率（20%） （改築費用 / 更新費用） - 1	0%	0%	20%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	太子町	間接	個人	-	-	雨水貯留槽設置補助金	雨水貯留槽35基分	太子町	■	■	■	■	■	1		策定中
	A07-002	下水道	一般	太子町	直接	太子町	管渠（ 汚水）	改築	マンホールポンプ更新事業	マンホールポンプ14基 通報装置等	太子町		■	■	■	■	26		-
	A07-003	下水道	一般	太子町	直接	太子町	管渠（ 汚水）	改築	マンホール蓋更新事業	マンホール蓋40箇所	太子町		■	■	■	■	19		-
	A07-004	下水道	一般	太子町	直接	太子町	管渠（ 汚水）	改築	管渠更新事業	管渠φ1000 L=130m更生工法	太子町		■	■	■	■	81		-
	A07-005	下水道	一般	太子町	直接	太子町	-	-	耐水化計画策定事業	太子前処理場耐水化計画策定（ 1 処理場）	太子町			■	■	■	9		-
	A07-006	下水道	一般	太子町	直接	太子町	ポンプ 場	改築	太子前処理場改築事業	除塵機・沈殿式掻き寄せ機	太子町					■	140		-
											小計						276		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						276		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
経済建設部上下水道事業所で実施	令和6年8月
	公表の方法
	町ホームページおよび経済建設部上下水道事業所で公表を実施

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	指標1：雨水貯留槽設置補助金交付事業を実施したが、設置13基と希望者が少なかったため、目標の57基は達成できなかった。 指標2：計画期間内に予定するマンホールポンプ14基の通報装置を更新し、目標を達成した。 指標3：計画期間内に予定するマンホール蓋40基の更新を予定していたが、対象外区域の更新を行うことになったため、達成できなかった。 指標4：老朽管渠の更新について、計画通り目標を達成した。 指標5：対象施設の耐水化計画について、計画通り目標を達成した。 指標6：対象施設の今後の方針を検討することになり更新を見直したため、達成できなかった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○特記事項（今後の方針等）

平成31年度から令和5年度まで5年間の計画期間において定量的指標は、雨水貯留槽の設置、マンホール蓋の更新、対象施設の改築費用の削減について目標達成できなかったが、マンホールポンプの更新、老朽管の更新、耐水化計画については目標通り達成することができた。

今後も継続して下水道整備を行い、更なる快適な暮らしを実現するとともに、良好な環境づくりに取り組んでいきたい。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	雨水貯留槽		
	最 終 目標値	57基	雨水貯留槽の設置希望者が少なかったため
	最 終 実績値	13基	
2	マンホールポンプ更新		
	最 終 目標値	14基	
	最 終 実績値	14基	
3	マンホール蓋更新		
	最 終 目標値	40箇所	一部の更新について、ストックマネジメント計画の対象外区域で行うことになったため
	最 終 実績値	27箇所	
4	老朽管更新		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	129%	
5	耐水化計画		
	最 終 目標値	1処理場	
	最 終 実績値	1処理場	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	改築費用の削減		
	最 終 目標値	20%	今後の方針について検討することになり、更新を見直したため
	最 終 実績値	0%	

社会資本総合整備計画

計画の名称	1 太子町における快適な暮らしを実現する下水道整備の推進（防災・安全）		
計画の期間	平成31年度 ～ 令和5年度（5年間）	交付対象	太子町

